

2025年度 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	総合実習事前・事後指導	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次 曜日・時限	OT・4年 不定期
担当教員	杉野潤也・石田敦子・伊藤大貴・村谷澄哉				
授業概要	総合実習に必要な知識・技術・態度を身につけられるように指導します。				
学習目標	・総合実習に必要な知識を習得し、解剖・運動・生理・基礎評価で国家試験同等の問題が理解できる ・模擬的な対象者評価場面で必要な技術・態度を身につける ・実習終了後に振り返りを行う事で、臨床思考力を高める				
回数					担当教員
1回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（ROMex）①P28～				杉野・石田・伊藤・村谷
2回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（筋力増強訓練）①P40～				杉野・石田・伊藤・村谷
3回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（シェーピング）				杉野・石田・伊藤・村谷
4回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（起居・移乗）①P147～				杉野・石田・伊藤・村谷
5回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（座位保持・起立訓練）①P164～				杉野・石田・伊藤・村谷
6回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（更衣上衣訓練）①P267～				杉野・石田・伊藤・村谷
7回目	OSCE対策 身体・老年期障害領域（更衣下衣訓練）①P313～				杉野・石田・伊藤・村谷
8回目	OSCE対策 精神障害、老年期障害領域（講義、作業分析の実施）				杉野・石田・伊藤・村谷
9回目	OSCE対策 精神障害、老年期障害領域（講義、作業分析の実施）				杉野・石田・伊藤・村谷
10回目	OSCE対策 精神障害、老年期障害領域（演習、発表）				杉野・石田・伊藤・村谷
11回目	OSCE対策 精神障害、老年期障害領域（演習、発表）				杉野・石田・伊藤・村谷
12回目	OSCE				杉野・石田・伊藤・村谷
13回目	共用試験対策(解剖学) ②P1～495				杉野・石田・伊藤・村谷
14回目	共用試験対策(運動学) ②P1～495				杉野・石田・伊藤・村谷
15回目	共用試験対策(生理学) ②P1～495				杉野・石田・伊藤・村谷
16回目	実習書類について 出席表、成績表				杉野・石田・伊藤・村谷
17回目	実習課題について デイリーノート、症例カルテ				杉野・石田・伊藤・村谷
18回目	実習課題について 症例レジュメ、発表原稿				杉野・石田・伊藤・村谷
19回目	実習事後対策(レポート作成) 個別指導 総合Ⅱ期終了後				杉野・石田・伊藤・村谷
20回目	実習事後対策(レポート作成) 個別指導 総合Ⅱ期終了後				杉野・石田・伊藤・村谷
教科書及び参考書	①PT・OTの為の臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編/金原出版株式会社 ②PT・OT基礎固めヒント式トレーニング基礎医学編/南江堂				
成績評価	共用試験 50% OSCE 50%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
臨床実習で患者様を対応させて頂くレベルに達しているかを判断する為に、知識面では共用試験を行います。また技術面・態度面では外部講師を招いたOSCEを行いますので、しっかりと準備して有意義な臨床実習になるように備えましょう。					

2025年度 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	総合演習	開講年次	OT4年後期	不定期
担当教員	作業療法学科 専任教員			
講義概要	国家試験合格を目指し、ディスカッションを中心とした講義を実施する。			
学習目標	1. 国家試験の設問の意図を理解し、キーワードに下線を引くことができる。 2. 各選択肢の正誤を正しく直すことができる。 3. 各設問を解答するスピードを上げていく。 4. 今までの知識を応用して対応できるようになる。			
回数			担当教員	
1回目	国試対策オリエンテーション 骨の基礎・連結		作業療法学科 専任教員	
2回目	筋の構造と理解		作業療法学科 専任教員	
3回目	筋の起始停止		作業療法学科 専任教員	
4回目	関節(上肢)		作業療法学科 専任教員	
5回目	関節(下肢)		作業療法学科 専任教員	
6回目	筋の作用、姿勢		作業療法学科 専任教員	
7回目	歩行の運動学		作業療法学科 専任教員	
8回目	バイオメカニクス		作業療法学科 専任教員	
9回目	運動学習		作業療法学科 専任教員	
10回目	神経の興奮伝導		作業療法学科 専任教員	
11回目	中枢神経系		作業療法学科 専任教員	
12回目	末梢神経		作業療法学科 専任教員	
13回目	脊髄神経		作業療法学科 専任教員	
14回目	感覚神経		作業療法学科 専任教員	
15回目	反射と筋活動		作業療法学科 専任教員	
16回目	感覚		作業療法学科 専任教員	
17回目	脳波		作業療法学科 専任教員	
18回目	呼吸器系		作業療法学科 専任教員	
19回目	循環器系		作業療法学科 専任教員	
20回目	消化器系		作業療法学科 専任教員	
21回目	排泄		作業療法学科 専任教員	
22回目	代謝性疾患		作業療法学科 専任教員	
23回目	ホルモン		作業療法学科 専任教員	
24回目	発生		作業療法学科 専任教員	
25回目	病理学		作業療法学科 専任教員	
26回目	発達指標		作業療法学科 専任教員	
27回目	反射・反応		作業療法学科 専任教員	
28回目	心疾患		作業療法学科 専任教員	
29回目	血管疾患		作業療法学科 専任教員	
30回目	呼吸器疾患		作業療法学科 専任教員	
31回目	消化器疾患		作業療法学科 専任教員	
32回目	代謝性疾患		作業療法学科 専任教員	
33回目	内分泌疾患		作業療法学科 専任教員	
34回目	免疫疾患・感染症		作業療法学科 専任教員	
35回目	腫瘍		作業療法学科 専任教員	
36回目	廃用症候群		作業療法学科 専任教員	
37回目	薬物療法		作業療法学科 専任教員	
38回目	高次脳機能障害		作業療法学科 専任教員	
39回目	運動麻痺		作業療法学科 専任教員	
40回目	感覚障害		作業療法学科 専任教員	
41回目	脳血管・頭部外傷		作業療法学科 専任教員	
42回目	神経疾患各論 (認知症)		作業療法学科 専任教員	
43回目	筋疾患		作業療法学科 専任教員	

44回目	整形外科学	作業療法学科 専任教員
45回目	RA・変形性関節症	作業療法学科 専任教員
46回目	末梢神経損傷	作業療法学科 専任教員
47回目	脊髄損傷	作業療法学科 専任教員
48回目	脊椎疾患	作業療法学科 専任教員
49回目	その他整形疾患	作業療法学科 専任教員
50回目	リハビリテーション概論	作業療法学科 専任教員
51回目	臨床心理学	作業療法学科 専任教員
52回目	精神医学(概要)	作業療法学科 専任教員
53回目	統合失調症	作業療法学科 専任教員
54回目	気分障害	作業療法学科 専任教員
55回目	神経症性障害	作業療法学科 専任教員
56回目	その他の精神疾患	作業療法学科 専任教員
57回目	精神科薬物療法	作業療法学科 専任教員
58回目	作業療法評価	作業療法学科 専任教員
59回目	作業療法の基礎	作業療法学科 専任教員
60回目	作業療法の範囲	作業療法学科 専任教員
61回目	OT評価・バイタル	作業療法学科 専任教員
62回目	ROM	作業療法学科 専任教員
63回目	MMT	作業療法学科 専任教員
64回目	運動評価	作業療法学科 専任教員
65回目	運動発達・ICF	作業療法学科 専任教員
66回目	認知症・高次脳	作業療法学科 専任教員
67回目	中枢神経評価	作業療法学科 専任教員
68回目	心電図	作業療法学科 専任教員
69回目	精神評価	作業療法学科 専任教員
70回目	地域作業療法学	作業療法学科 専任教員
71回目	福祉用具	作業療法学科 専任教員
72回目	義肢装具	作業療法学科 専任教員
73回目	OT治療学基礎	作業療法学科 専任教員
74回目	骨関節障害	作業療法学科 専任教員
75回目	脳血管障害	作業療法学科 専任教員
76回目	パーキンソン病	作業療法学科 専任教員
77回目	外傷性・脊髄損傷	作業療法学科 専任教員
78回目	末梢神経・筋	作業療法学科 専任教員
79回目	内部障害	作業療法学科 専任教員
80回目	運動学習・発達障害	作業療法学科 専任教員
81回目	その他の障害	作業療法学科 専任教員
82回目	統合失調症	作業療法学科 専任教員
83回目	気分障害	作業療法学科 専任教員
84回目	不安障害	作業療法学科 専任教員
85回目	摂食障害	作業療法学科 専任教員
86回目	パーソナリティ障害/てんかん	作業療法学科 専任教員
87回目	依存症	作業療法学科 専任教員
88回目	発達障害	作業療法学科 専任教員
89回目	認知症	作業療法学科 専任教員
90回目	高次脳機能障害	作業療法学科 専任教員
91回目	過去問60回AM	作業療法学科 専任教員
92回目	過去問60回PM	作業療法学科 専任教員
93回目	過去問59回AM	作業療法学科 専任教員
94回目	過去問59回PM	作業療法学科 専任教員
95回目	過去問58回AM	作業療法学科 専任教員
96回目	過去問58回PM	作業療法学科 専任教員

97回目	過去問57回AM	作業療法学科 専任教員
98回目	過去問57回PM	作業療法学科 専任教員
99回目	過去問56回AM	作業療法学科 専任教員
100回目	過去問56回PM	作業療法学科 専任教員
101回目	アイベック模試	作業療法学科 専任教員
102回目	三輪模試	作業療法学科 専任教員
103回目	医歯薬模試	作業療法学科 専任教員
104回目	復習	作業療法学科 専任教員
105回目	復習	作業療法学科 専任教員
教科書及び参考書		PT・OT基礎固めヒント式トレーニング「基礎医学編」「臨床医学編」/南江堂 PT/OT国家試験 必修ポイント2024「基礎OT学」「障害別 OT治療学」/医歯薬出版
教授方法		講義、ディスカッションによるグループ・ワーク
成績評価		判定方法 : R8 年1月8日の卒業試験 卒業試験合格基準 : 得点168点以上
学生へのメッセージ(受講に際する留意点など)		
これまでの学生生活、4年間の集大成です。今までの知識や実習での経験を生かして協力してクラス全員で切磋琢磨して国家試験合格を目指しましょう。授業の空き時間に関しても、復習や自分の不足している知識の充足のために学習を進める時間としてください。問題集の解説を読んで「分かった気」にならないようにしましょう。なぜその答えになるのかまずは納得いくまで考え、自分用の解説を作成すること。そして暗記用のノートやファイルを作成し、習熟度に合わせて更新すること。何より問題数をこなすこと。努力は必ず実を結びます。 行き詰まったら、合格してガッツポーズをしている自分、新人OTでドキドキしている自分を思い描いてください。勉強は楽しいものです。さあ、がんばりましょう！		